



東京女子医科大学学術リポジトリ
<https://twinkle.repo.nii.ac.jp>



目次等

雑誌名	東京女子医科大学雑誌
巻	90
号	5
発行年	2020-10-25
URL	http://hdl.handle.net/10470/00032593

■総説 炎症性疾患

- (4) 動脈硬化と炎症のかかわり…………… 渡辺大輔・森本 聡・市原淳弘… 97-104
(5) 治療と薬剤—消化器系炎症性腸疾患における内科治療—Up to Date—…… 大森鉄平…105-116

■学会・研究会抄録

- 女性医師・研究者支援シンポジウム 2020 (2020 年 6 月)…………… 117-118

JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY

(TOKYO JOSHI IKADAIGAKU ZASSHI)

Volume 90 Number 5 October 25, 2020

Reviews: Inflammatory Disease

(4) Atherogenesis and Inflammation

Daisuke Watanabe, Satoshi Morimoto, Atsuhiko Ichihara..... 97-104

(5) The Medical Treatment of Inflammatory Bowel Disease—Up to Date—

Teppei Omori 105-116

Proceeding

Symposium on Women Health Care Professionals and

Researchers Support (June 2020) 117-118

女性医師・研究者支援シンポジウム 2020

日 時：2020 年 6 月（収録）

主 催：東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター女性医師・研究者支援部門

挨拶

（理事長）岩本絹子

（学長）丸 義朗

開会の挨拶

（女性医療人キャリア形成センター長）肥塚直美

東京女子医科大学の女性医師研究者支援

（女性医師・研究者支援部門長，臨床検査科）佐藤麻子

女性医師研究者研究発表会

2019 年度「研究支援員制度」対象者による研究報告

座長（病理学（病態神経科学分野））柴田亮行

変性脳疾患におけるグリア細胞機能の研究

（病理学（病態神経科学分野））新井田素子

座長（血液内科学）萩原将太郎

本邦の血液疾患における KIRgenotype の意義の検討

（血液内科学）田中紀奈

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業「勤務環境改善プロジェクト」報告

座長（ダイバーシティ環境整備事業推進室長，解剖学）本多祥子

医師の休憩について考える

（皮膚科学）福屋泰子

閉会の挨拶

（医学部長，皮膚科学）石黒直子

〔ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業

「勤務環境改善プロジェクト」報告〕

企画挨拶：勤務環境改善プロジェクト報告

（ダイバーシティ環境整備事業推進室長，解剖学）

本多祥子

東京女子医科大学は，平成 28 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択されました。本事業は，研究者のライフイベント及びワークライフ・バランスに配慮した研究環境の改善やそれに向けた機関内の意識改革，女性研究者の裾野の拡大，女性研究者の研究力の向上及び上位職への積極登用に有効な部局横断的な取り組みなどを行う大学等を支援するものです。本学では，実績をあげてきた従来のプロジェクトにさらに多様な視点と発想を取り入れ，女性研究者の研究力向上・上位職登用を実現させるための取り組みを進めております。その一環として，平成 29 年度より本学教員としてのキャリア形成に向けて女性医師・研究者の所属する医局における勤務環境改善プロジェクトを実施しております。

勤務環境改善プロジェクトでは学内でも特に女性医師・研究者が多数在籍し精力的に育成されている診療科が選定され，各診療科内で結成されたワーキンググルー

プが中心となって医局内の課題について検討し，数か月間にわたり改善を実施してきました。ワーキンググループのメンバーによる最初の座談会では，我が国の勤務医の勤務環境の現状について情報共有を行い，自らのキャリアイメージについて考え，その実現のための課題について活発な意見交換を行いました。すなわち多様な働き方を可能にするための，研究・教育など診療以外に必要な時間の確保，短時間勤務を当たり前にする意識醸成，不公平感の是正などについて様々な視点で検討し，組織としてのテーマを設定しました。そして各テーマに関する取り組み計画を立案・作成し，ワーキンググループのメンバー自身がその計画に沿って勤務環境改善を実施してきました。

女性医師のキャリア形成の為に各医局が組織として進めている取り組みを本シンポジウムにおいてご報告いただくことは，大変相応しい機会であると考えます。このような勤務環境改善プロジェクトの継続により，誰もが自身の理想とするキャリアイメージを実現できる環境が今後も作られていくものと考えております。